

50年のあゆみ

Anniversary

岡山県生活協同組合連合会

ふだんのくらしをサポートする

“せい

たべる・つかう・まなぶ・そだてる・たすけあう ～ 環境・資源・健康・福祉・介護・平和 ～



岡山県内の協同組合が連帯して

岡山県協同組合

1996年
には、県内4つの協同組合が「岡山県協同組合連絡協議会」（略称OJT）を結成。以来、毎年7月、国際協同組合デー（第一土曜日）を記念して「協議会交流会」を開催してきました。



村上進通協議会会長



2008年 東 佐都子さん



協議会発足、第一回交流会（1996）



2002年 日和佐さんを迎えて



1999年



2009年

年	テーマ・講師ほか
96	国際協同組合デー記念交流会協議会発足 会長 岡 毅 副会長 後藤 四六 幹事長 田中 昭
97	「農業と環境」 久馬 一剛氏
98	「21世紀に向けた新たな協同活動の展開」 京都府立大学教授 宮崎 猛氏
99	「21世紀にむけての農林漁業の展望」 農山漁村女性活動推進機構理事 大島 綾子氏
00	「食料自給率の向上に向けて」 西九州大学教授 木村 務氏
01	「食の安心とセーフガード」 愛媛大学農学部教授 岸 康彦氏
02	「BSE問題と食品の安全性をめぐる今後の課題」 日和佐信子さん（全国消団連元事務局長・雪印社外取締役）

きょうの 今

協同と連帯・・・そして 未来へ

県外の生協も訪問し、さまざまな学びの機会になっています。



兵庫県連

コープこうべの福祉活動、尼崎医療生協の組織運営などを学ぶ・・・2000年8月



ベトナム

マーケットリーダーとしてのサイゴンコープの活躍ぶりや市場の様子を見聞、ツーズ病院の訪問から平和の大切さを学ぶ・・・2005年9月



挨拶をされるサイゴンコープのニヤ理事長



サイゴンコープの説明を聴く一行



持参した折り鶴を副院長のツンさんに手渡す吉永団長



ディスプレイとボリューム陳列に活気あふれる店内

沖縄

生協の現状と戦跡・基地めぐり・・・2006年11月



市街地の中に普天間基地がある

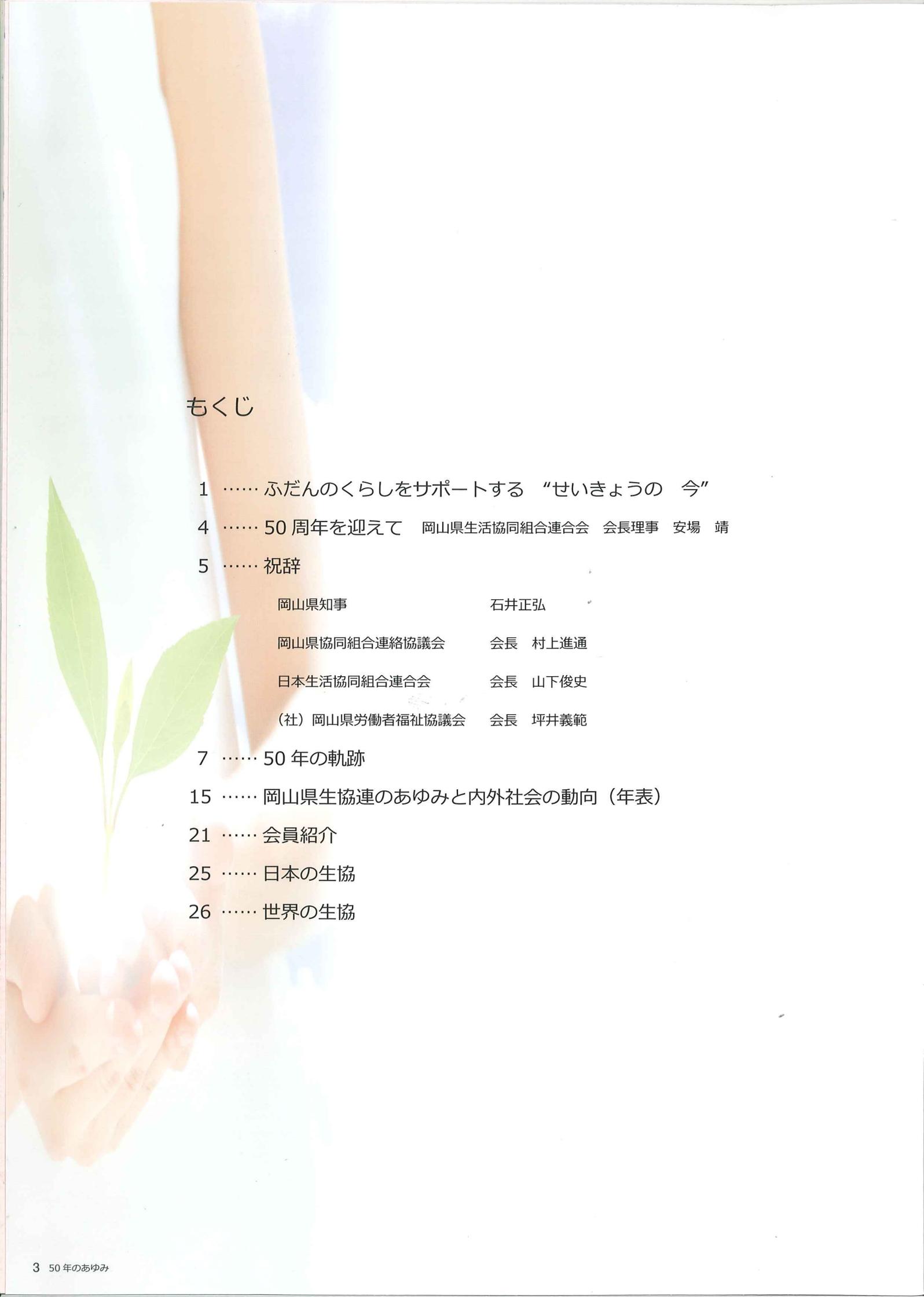
庄内

庄内まちづくり協同組合「虹」を中心に高齢者福祉・住宅事情を見聞、活動内容を学ぶ・・・2009年11月



連絡協議会交流会

年	テーマ・講師ほか
03	「WTO 農業交渉めぐる動きと食品の安全性」 東洋大学経済学部教授 服部 信司氏
04	「産業としての農の確立～消費者とともに～」 県農協中央会会長 村上 進通氏
05	「望ましい食生活の実現に向けた食育の推進」 地域社会計画センター客員研究員 根岸 久子さん
06	「高齢社会どうなる生活、くらし、健康や病気、老後」 ～農業や食は素人ですが・・・前 律夫氏(水島南診療所長)
07	「共に育ちたい」～今家庭に必要なものは～ 岡山学芸館高校参与 森 美智子さん
08	「自給自足の体験が育むもの」 三原市立小坂小学校校長 東 佐都子さん
09	「10年後も輝き続ける協同組合運動をめざして」 協同組合経営戦略フォーラム代表 坂野百合勝氏



もくじ

- 1 …… ふだんのくらしをサポートする “せいきょうの 今”
- 4 …… 50周年を迎えて 岡山県生活協同組合連合会 会長理事 安場 靖
- 5 …… 祝辞
 - 岡山県知事 石井正弘
 - 岡山県協同組合連絡協議会 会長 村上進通
 - 日本生活協同組合連合会 会長 山下俊史
 - (社)岡山県労働者福祉協議会 会長 坪井義範
- 7 …… 50年の軌跡
- 15 …… 岡山県生協連のあゆみと内外社会の動向（年表）
- 21 …… 会員紹介
- 25 …… 日本の生協
- 26 …… 世界の生協

50周年を迎えて



岡山県生活協同組合連合会
会長理事 安場 靖

岡山県生活協同組合連合会が、「協議会」から「連合会」に組織統一して50年、汗と涙の結晶によって、今日を迎えました。当生協連の歴史を築いてこられた先達に敬意をささげ、ここに行政をはじめ関係者のみなさまとともに慶びを分かち合いたいと思います。

さて、17会員で創設した岡山県生協連は、その後、9つの会員が加盟しましたが、14会員が閉鎖または解散となってしまいました（うち1会員は再建）。

戦後の復興とともに、暮らしに必要な物資の供給に資するためにつくられた生協の多くは、1960年代の日本経済の急速成長を背景に、景気浮沈の影響を受け、営業管理や組織運営もままならない状況で、苦渋と悲劇を避けることはできませんでした。

このようななかで、会員生協とこれを支える組合員、役職員の艱難辛苦は、「高度成長の“光”」に希望を託しつつ、第一次・二次オイルショックも乗り越えてきました。

振り返ってみますと、軌跡50年の前半は、生協の事業と組織の再建をはたすこと、公害から健康と命を取り戻すこと、後退する医療制度や生協規制を跳ね返す取り組みが中心でした。

後半は、生協の健全経営とともに食品の安全や食育、地球環境と資源保護、福祉・社会保障の充実、消費者の自立支援と権利の確立、自然災害の防除、生協の育成・自立、子育て支援等々、消費者・生活者の要望を法律や条例改正など社会システムの充実に向けて提言し、取り組んできたことが特徴でした。

50周年の節目にあたり、岡山県生協連が世界の協同組合の「理念」でもある「定義・価値・原則」を原点に、いつも立ち返り、県内生協連帯の舞台になって、また、県民の将来の暮らしの安心、平和づくりに少しでも貢献できることを願っています。

今後ともみなさま方のいっそうのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

岡山県生協連役員（2010年3月現在）

会長理事	安場 靖	（常勤一員外）	理事	牧野 義明	（県労済生協 専務理事）
副会長理事	三橋 幸夫	（おかやまコープ 理事長）	理事	水嶋 康彦	（グリーンコープ生協おかやま 専務理事）
副会長理事	中原 豊	（三井造船生協 理事長）	理事	宮本 紀子	（おかやまコープ 全体理事）
副会長理事	清瀬 民夫	（倉敷医療生協 専務理事）	理事	山内 幸子	（三井造船生協 理事）
理事	和泉 伸子	（倉敷医療生協 理事）	監事	上村 昇	（岡山医療生協 常任理事）
理事	木村 高浩	（岡山医療生協 専務理事）	監事	近藤 清志	（おかやまコープ 常務理事）
理事	佐々木正昭	（津山医療生協 専務理事）	監事	名合 正壽	（本花滝生協 理事長）
理事	上甲 啓一	（岡山大学生協 専務理事）	顧問	吉永 紀明	（おかやまコープ 常任顧問）
理事	本田 正一	（県学校生協 専務理事）			

岡山県生活協同組合連合会が、このたび創立50周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

岡山県知事 石井 正弘



岡山県生活協同組合連合会は、昭和35年の設立以来、消費生活協同組合の円滑な事業運営のためにさまざまな活動を通じて、本県の生活協同組合の発展に大きな役割を果たしてこられました。現在、生協連傘下の組合員数は70万人を超え、事業内容も生活用品の供給をはじめ、医療、福祉、共済などさまざまな分野へ広がり、食の安全や食育への取り組みにも貢献いただいているところであり、そのご努力に対し深く敬意を表する次第です。

岡山県では、「暮らしやすさ日本一」の岡山を目指し、県政運営の基本方針「新おかやま夢づくりプラン」に沿って、行財政構造改革の取り組みを進めながらも、県民の生活を守り、向上させていくことを最優先に施策を進めていくこととしております。とりわけ私たちの一番身近な消費者施策につきましては、昨年設置された消費者庁や市町村、消費者団体の皆様と連携しながら、県民一人ひとりが安全で安心な消費生活を実現できるよう全力で取り組んでいきたいと考えております。

皆様方におかれましても、なお一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げますとともに、今後とも消費生活協同組合法に基づき、消費者の要望、時代や社会の要請を積極的に取り入れられ、組合員のニーズに沿った適切かつ健全な運営に努められますよう期待しております。

終わりに、岡山県生活協同組合連合会のさらなるご発展と、皆様方のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

岡山県生活協同組合連合会創立50周年記念誌の発行に際しまして、岡山県協同組合連絡協議会を代表いたしまして、一言お祝いを申し上げます。

岡山県生活協同組合連合会の会員、組合員の皆様方におかれましては、昭和35年の連合会設立以来、豊かな地域社会の創造と生活者・県民一人ひとりの豊かな暮らしの実現に向けて、長きにわたりご尽力を賜っているところであります。これまでの幾多のご苦勞に対しまして、深く敬意を表するとともに感謝を申し上げる次第であります。

生活協同組合と農林漁業関係協同組合の接点としては、平成8年に岡山県下の生活協同組合、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合等が協議して、各種協同組合運動相互の連携、共通課題の実行および全国の協同組合運動並びに海外協同組合運動との連携をはかることを目的として、岡山県協同組合連絡協議会を設立したところに端を発しております。年に1度の交流会であります。回を重ねて昨年で14回を迎えております。

立場は異なる協同組合組織ではありますが、最近では「地球環境の維持」、「安全・安心な農畜産物の提供」、「食育（食農教育）」、「異種協同組合間の連携活動」、「協同組合的アプローチによる危機の克服」など共通課題がたくさんあります。岡山県協同組合連絡協議会では、これらの共通課題をテーマに研修会を実施したり、意見交換会を通して相互の交流に努めているところでございます。

また、岡山県協同組合連絡協議会の会員である、生活協同組合おかやまコープと全農岡山県本部等の間では、安全・安心な農畜産物の安定供給ルートのパイプが年々拡大してきており、「異種協同組合間の連携活動」の成果が生まれています。

今後ともこうした取組を強化して参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、岡山県生活協同組合連合会・会員のご繁栄と組合員の皆様方のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ、お慶びのことばとさせていただきます。

岡山県協同組合連絡協議会 会長 村上進通



日本生活協同組合連合会 会長 山下 俊史



岡山県生協連が創立 50 周年を迎えられるにあたり、全国の生協の仲間を代表して心よりお祝い申し上げます。

創立以来、県連と会員生協組合員、役職員の皆様が、県民の生活の安定と生活文化の向上のため多大な努力と実績を積み重ねてこられましたことに深く敬意を表する次第でございます。

今日、世界は、経済危機、地球温暖化、食料需給の不安定化、貧困・飢餓、テロなど、平和なくらしを脅かす重大な問題に直面しています。国内においても、経済状況は引き続き厳しく、失業者の増大や所得の減少、世帯や地域間の格差の拡大、少子高齢化、食品の安全・医療や福祉に関わる不安が拡大し、消費者・組合員のくらしと生協の経営が厳しく先行きの見えにくい状況となっています。

このようななか、昨年 12 月の第 64 回国連総会では、協同組合の社会経済開発や世界の食料安全保障、金融危機への取り組みに期待し、2012 年を「国際協同組合年」とすることが決議されました。また 11 月の国際協同組合同盟ジュネーブ総会では、岡山県生協連の皆様をはじめ平和の取り組みに尽力されてきた全国の生協を代表して、日本生協連より核兵器の廃絶を求める平和決議を提案し、採択されました。厳しい状況を打開し未来を築くため、生協をはじめとする協同組合への期待とその役割は、世界で、日本で、いちだんと大きくなっているものと考えます。

今、わたしたち生協は、組合員ひとりひとりのくらしを見つめ、求められていることに応えるため、生協の事業・組織のあり方を、改めて問い直さなければなりません。連帯を強め、全国の生協の力を結集するならば、事業経営の構造改革を実現し、組合員の期待に応える事業活動を実現することは必ずできると確信しています。岡山県生協連の皆様と全国の生協の英知を結集し、協同の力でこの危機を乗り越えて行くことはありませんか。

岡山県の生協運動が引き続き県民に支持され、一層の発展をされること、そのためにも関係各位の変わらぬ御支援、御協力を心より祈念する次第です。

岡山県生協連創立 50 周年誠におめでとう
ございます。心よりお祝い申し上げます。

また、長年に亘り生協運動に携わられました、諸先輩の方々と関係者の皆様に厚く敬意を表します。

さて、私たち勤労者・生活者を取り巻く状況は、30 年におよぶ新自由主義政策のもとで社会保障制度は大きく揺らぐとともに、行き過ぎた規制緩和により「暮らしと労働」は破壊されています。

今日、日本社会において格差の拡大や貧困が固定化し社会的な問題となっています。また、労働分野においても非正規雇用やワーキングプアの増加等、数多くの課題が見受けられます。

こうした現状を脱却し、安心・共生の福祉社会をつくるためには、新たなセーフティネットの創設と、既存の協同組合経済の領域の拡大が重要な役割を担うと思っています。

県労福協はこの様な状況を踏まえ、昨年 5 月、県内に 3 ヶ所の地域センターを置き、勤労者・生活者の様々な悩み事や相談に対応するため、岡山ライフサポートセンターを開設しました。

一方、県生協連におかれましては、組合員のくらしと地域社会にとってなくてはならない存在となっています。

長年培われたノウハウを如何なく発揮され活動領域の拡大を願っています。

私ども県労福協は、今後更に県生協連との連携を深め、運動の原点であります「相互扶助の精神」のもと、ともに運動を推進していく所存であります。

県生協連の益々のご発展をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶と致します。

(社)岡山県労働者福祉協議会 会長 坪井 義範



県の行政や議会と情報交換をし、消費

石井正弘知事と懇談

懇談会は、1997年1月28日が最初でした。
 県生協連からは会長理事・副会長理事・専務理事が参加。
 2003年からは3名の女性理事も参加するようになりました。



初めての懇談のようす



女性理事も加わって

岡山県議会全会派議員さんとの懇談会は21回を重ねて



あいさつをされる当時の副知事 野平さん



懇談会のテーマと開催年

回	テーマ	年・月
1	県生協連30周年記念式典とレセプション	90.3
2	県生協連事務所移転と紹介	92.4
3	生協規制問題について	93.2
4	PL法意見書陳情と行政要望の内容	同年9
5	産直活動と米の問題	94.2
6	県生協連の活動内容報告	同年12
7	阪神淡路大震災と生協の果たした役割	95.7
8	災害時の緊急物資協定	同年12
9	自然災害等国民的保障制度を求める運動	96.12
10	県生協連及び会員生協の活動報告	97.12
11	県生協連及び会員生協の活動報告	98.12
12	食品の安全確保に関する運動ほか	99.12
13	食の安全と介護保険をめぐって	00.12
14	食の安全・環境・福祉をめぐって	01.12
15	食の安全・福祉・消費者問題をめぐって	03.9
16	最近の消費者問題と消費生活条例	04.12
17	消費者をめぐる諸問題と消費者行政	05.12
18	安全・安心のあるくらしの創造	06.12
19	くらしのなかに安全・安心を！	07.12
20	くらしに安全・安心を！	08.12
21	より安全、より安心できるくらしを求めて！	09.12

県行政との懇談会は、食の安全、消費者被害、保健・福祉、環境、災害など関係部局との情報交換を通して相互理解を深めています。



1998年2月



2007年2月

中四国生協・行政合同会議では、生協の役割や責任など幅広く話し合っています。



第1回の会議風景



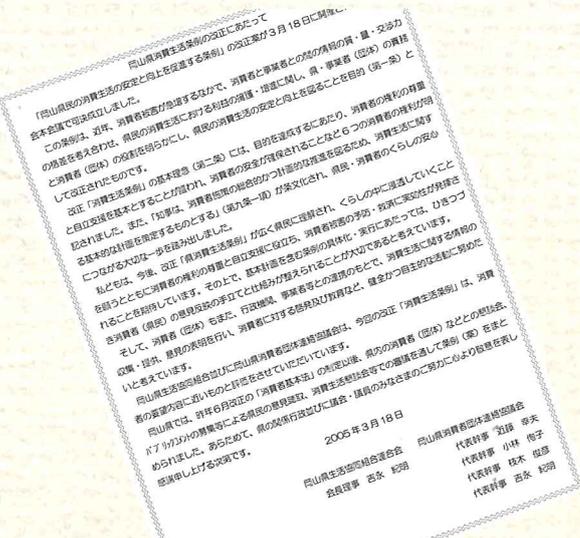
第20回は岡山で開催 本田副知事（当時）のご挨拶

食品の...
 中四国生協...
 生協の役割や責任など幅広く話し合っています。

者・生活者として意見を述べています。

話題は、「マイバッグ宣言」「介護保険」「地域振興券」「食の安全」「森づくり基金」「地産地消」「消費生活条例」「生協法改正」「中国産冷凍餃子」「農業・食料」「消費者団体訴訟制度」「子育て支援」「医療・医師不足」等々、時の情勢にかかわって有意義な意見交換がされています。

県の「消費生活条例」が28年ぶりに改正！（2005年3月県議会）
～基本理念に消費者の権利の尊重と自立支援を明記！～



創立50周年を祝して

特定社会保険労務士 大山和夫（元県連会長理事）

岡山県生協連の創立50周年に当たり心からお祝い申し上げます。振り返りますと、県連設立の嚆矢は、1945年戦争終結直後の社会混乱期に遡り、紆余曲折を経て、現県連創立に至っています。創立当初、事務局を岡山医療生協に設置、1983年おかもやまコープに移され、1992年オルガ竣工によりオルガに置かれました。私は1996年から4年余県連理事会出席のためオルガに通い、帰途理事仲間と岡山駅西口辺りで、よく道草を食っていた情景を思い出します。

当時国内は低成長と少子高齢化社会を迎え、消費税の値上げ、介護保険法・NPO法の施行等、海外は単一通貨ユーロの発定等、変革の兆しが見えた一方で、社会保障費の高騰、地球環境の危惧等将来への不安を増幅していました。

生協のありかたについても、例えばコスト（効率性）、組合員のニーズ、経営戦略、コープ・レイトガバナンス等の課題が提起され、模索がはじまりました。

生協の原点は、166年前のロッチェル原則にあると考えます。競争ではなく協同、低価格より安心・安全、戦略ではなく人と人との対話を大切にすることが望まれます。県生協連が担われている役割の重要性を再認識され、今後ますますご発展されるよう期待いたします。

国会議員の協力も得て食品安全関連法が成立！（足掛け5年 2003年6月第156国会）また、第159国会（2004年5月）で、「消費者の権利」などが明記されて、消費者基本法が成立。



生協は、県行政・議会に「食の安全に関する基本条例」制定を求めつづけ平成18年12月の県議会において「食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例」が制定された。



「食品衛生法」の改正を求める請願署名は県内で56万筆、全国で1340万筆を超えた（2001年）

「食品の安全問題」では、中国四国農政局とも懇談



挨拶をされる農政局長



安全性確保を農政局と意見交換

岡山県と中国四国農政局との意見交換会が行われ、両機関の担当者らが、食の安全確保に関する課題について話し合った。岡山県は、食の安全確保の観点から、食の安全確保に関する課題について話し合った。岡山県は、食の安全確保の観点から、食の安全確保に関する課題について話し合った。

組合員・職員・役員がさまざまな取り

50年の軌跡



「あつてよかった生協」
コープこうべ組合長 小倉修悟日生協会長 (05年当時)



温暖化は？ どんなん？ 気象予報士 南利幸氏 (07年)



会員生協組合員が学び合って “組合員活動交流集会”

年	テーマと講師ほか
97	「医療生協活動と地域福祉」 倉敷医療生協玉島協同病院 田中俊正事務長
98	「協同ある街づくりをめざして」——地域で果たす協の役割 ルポライター 今崎暁巳氏
99	生協法50周年企画 「生協のあり方検討会報告から」 立命館大学 川口清史氏
00	「共に考え、共に生きよう21世紀の高齢社会」 倉敷医療生協 前 理事長 170名
01	「21世紀の食と健康とくらし」～正しい食生活～ダイエット理論にふれて 四国学院大学教授・同大学生協理事長 漆原光徳氏 250名
02	講演 とてもショックな「今の食卓事情 & 子どもの食生活事情と健康」 ～健康な未来を築くためには～ 太田美登里さん(アレルギークリニック)
03	講演 「生協福祉への期待」～まちづくり地域づくりにもかかわって～ 日本社会事業大学長 京極高宣氏
04	講演 「くらしを安全に」～協同し自立して、消費者の権利を確立しよう “隣り近所で気をつけあつて” 県消費生活センター所長 末金綱枝さん
05	あつてよかった生協 コープこうべ組合長 小倉修悟さん(日本生協連会長)
06	どうする？わたしたちの生活 どうする？この日本 ～医療や福祉はどうなる～ 前律夫氏(倉敷医療生協)
07	講演 温暖化は？ どんなん？ 気象予報士 南利幸氏 報告 県内の森林の現状と課題 藤原彰夫氏(県治山課)
08	講演 成長しつづける子どもたちへ～学校・友人・家庭を考える～ 山陽学園短大幼児教育学科教授 村中由紀子さん 報告 地域ぐるみの子育て支援について 林武文氏(県社協)
09	講演 金融危機で 私たちの生活はどう変わる？ 経済ジャーナリスト いちのせかつみ氏 報告 県金融広報委員会の活動から 内野敏行氏(日銀岡山支店)
10	創立50周年記念講演会 小菅 正夫氏(旭山動物園名誉園長) 「命のメッセージ～生きる意味ってなんだろう？～」



私の思い出

おかやまコープ常任顧問 吉永紀明 (元会長理事)

在任中の思い出では、
①当時は、食品衛生法改正運動が取り組まれ、県連としても県内で56万筆の署名を集めました。しかし残念ながら2001年1月の国会で審査未了となりました。最終的には2003年7月の「食品安全基本法」成立につながりました。
②県段階でも、食の安全推進本部が立ち上がり、「岡山県食の安全推進基本方針」が策定されました。私も県の審議会委員として関わりました。
③2005年9月に県連役員研修で、ベトナムを訪問しました。サイゴンコープを視察交流したあと、ツーザー病院でベトナムさんとドクさんに面会しました。ドクさんは病院の職員として元気に頑張っていました。
④県議会全会派議員との懇談会、石井知事との定期懇談、県民平和のつどいなど大切な課題について無事継承することが出来ました。

会員生協職員が、

年	テーマと講師ほか
96	「協同組合の定義・価値・原則」学習と交流 「福祉を巡る生協の対応と協同組合陣営の役割」 コープこうべ 宮内理事 56名
97	「生協の21世紀理念・ビジョン」 県生協連専務理事 吉永紀明氏 9生協 57名
98	「これからの生協運動のあり方」 日本生協連 布藤常務 8生協 75名
99	「生協が介護保険事業に参入することの意義と職員に期待されること」 日本生協連 福祉事務局 北 局長 8生協 64名
00	「IT産業社会のもとで(生協職員として)考えてみたいこと」 NEC 谷本氏 73名

組みを通して交流し、学んでいます。



「成長しつづける子どもたちへ」
村中由紀子さん（山陽学園短大教授）



金融危機で私たちの生活はどう変わる？
いちのせかつみ氏（経済ジャーナリスト）(09年)



「～21世紀の高齢社会」
倉敷医療生協 前理事長



「生協のありかた検討会報告から」
立命館大学 川口清史氏



生協員活動交流集会
協同あるまちづくりのために
主催 岡山県生活協同組合連合会



とてもショックな「今の食卓事情と子どもの食生活事情と健康」
太田美登利さん（アレルギークリニック）

～正しい食生活～ダイエット理論にふれて
四国学院大学教授 漆原光徳氏（01年）



竹本さん



奥田さん



間壁さん



市原さん



山下さん



川口さん



芳賀さん



青山 勲さん



青山 融さん



県生協連役員と単協役員の研修交流会（新年会）

年	テーマと講師ほか
95	「90年代後半期の生協運動の課題」 日本生協連 斉藤常務理事講演 56名
96	「日生協の組織機構改革がめざすもの」 日本生協連 藤岡常務理事講演 76名
97	「生協運動の未来と展望」 日本生協連 竹本会長 80名 「岡山県の流通情勢」 瀬戸内海経済レポート 猪木編集長
98	「生協の健全な機関運営指針等について」 日本生協連 藤岡常務理事 「鬼ノ城と岡山の役割」 総社市理蔵文化財の館 村上館長講演 8生協 70名
99	「生協の21世紀への展望 信頼の危機、存続の危機をどう乗り越えるか」 日本生協連 伊藤専務理事 「後楽園と岡山の街づくり」 元後楽園事務所長 山本利幸氏 10生協 70名
00	「事業・組織の構造を改革し、未来開発に踏み出すために」 日本生協連 藤岡常務理事 「岡山藩の元禄時代と津田永忠」 就実女子大学学長 柴田 一氏 10生協 85名
01	「生協への期待と農政局の考えていること」 農政局企画調整部長 木村元治氏 「水環境・水災害の歴史の変遷と対応する社会のあり方」 京大名誉教授、おかやまコープ理事 奥田勲夫氏
02	「理念を考える」 コープこうべ組合長 小倉修悟氏 ～エピソードでつづる～「史話・瀬戸内の文化人」 郷土文化研究家 生咲泰仁彦氏
03	「日本の生協の近未来」 日本生協連 伊藤専務理事 「おかやま弁 再発見」 「オセラ」編集長 青山 融氏
04	「日本の生協の歴史と到達点、ヨーロッパの生協に学ぶ」 日本生協連 副会長 山下俊史氏 「瀬戸内海国立公園のこれから」 環境省自然環境局 市原信男事務所長
05	「日本の社会経済システムの構造変化と生協」 立命館総長 川口清史氏 「古代吉備ものがたり」 倉敷考古館館長 間壁忠彦氏
06	「日本の生協の持続発展と将来像」～生協制度改革と第10次中期計画～ 日本生協連副会長 山下俊史氏 「古代史で活躍した岡山ゆかりの人物、今とかさねて」 岡山大大学院社会文化科学研究助教授 今津勝紀氏
07	「くらしの安心・安全に応えられる日本の生協のこれから」 日本生協連会長 山下俊史氏 「IPCC 報告に学ぶ」～健康な地球をいつまでも～岡山大学教授・おかやま環境ネットワーク理事長 青山勲氏
08	「日本の生協のこれから」～幹部職員に期待されること～ 日本生協連専務理事 芳賀唯史氏 「岡山弁 再発見！」 「オセラ」編集長 青山 融氏
09	「消費者主体の社会と生協運動に期待されるもの」 日本生協連参与・消費者庁参与 品川 尚志氏 「遺跡が語る吉備文化のものがたり」 岡山大学大学院社会文化科学研究科教授 新納 泉氏

共通のテーマで研修会

年	テーマと講師ほか
01	「対面・電話でのよりよい接し方、話し方、心遣いのできる職員をめざして」 社員研修インストラクター 佐藤 純子さん 9生協 90名
02	「あらためて生協の理念を考える」 県生協連会長理事 吉永紀明氏 8生協 65名
03	「明るく元気に仕事をするために」～メンタルヘルス・予防と支援を考える 林精神医学研・臨床心理士 谷原 弘之氏 8生協 69名
04	「生協のコンプライアンス経営」 京産大学大学院教授 坂東 俊矢 氏 9生協 84名
05	「生協で仕事をするということ」・・・10年勤続表彰を兼ねて 県生協連会長理事 吉永紀明氏 6生協 44名

消費者が安心してくらせる社会をも

1987年
10月19日、県生協連が事務局団体となって、県下12団体による「岡山県消費者団体連絡協議会」が結成されました。
総会后、「日本の食糧と国土を守る国民運動」と題して、農協中央会の吉富伸二郎農政広報部長の講演が行われました。



あいさつをされる後藤四六さん



消費者月間記念学習講演

年	テーマと講師ほか
98	「どうなる暮らし・・・家計から見る国民負担・金融ビッグバン」 熊澤通夫氏
99	リサイクルとわたしたちの暮らし 京都大学教授 植田和弘氏
00	財政危機と分権型福祉社会への展望 宮本憲一氏
01	「地方行政と暮らし」 ～税金はどのように使われているか 自治体の予算とわたしたちの暮らし～ 岡山市文化政策課長 長崎 司氏
02	「格差拡大は是か非か」～経済危機にあるアルゼンチンの今をみる～ フリージャーナリスト 斉藤貴男氏
03	「21世紀社会で消費者の利益を守るものは何か」～真に消費者のための「消費者保護基本法」の実現をめざして～ 弁護士 野々山 宏氏
04	「食の安全はどうなったか」～食品安全関連法の整備から1年をふりかえる～ 雪印乳業株式会社社外取締役 日和佐信子氏
05	「消費者被害の実情と消費者団体の役割を考える」 ～消費者契約法の充実・改正と消費者団体訴訟制度の導入を前に～ 京都産業大学 坂東俊矢氏
06	「防ごう！消費者被害！」 県消費生活センター所長 末金絹枝氏 「こうすれば拓ける、社会保障の展望」 ～日本は本当に財源不足か？国富に合った社会保障の充実へ～ 専修大学教授 唐鎌直義氏
07	「防ごう！消費者被害！」～平成18年度の消費生活相談状況から～ 県消費生活センター次長 内田 哲氏 「消費者団体訴訟制度」で何ができる？ 弁護士 黒木理恵氏
08	「県内の最近の被害・相談事例の特徴」 県消費生活センター所長 佐藤秀樹氏 「人はなぜ、だまされるのか ～消費者の心理とその防止～」 静岡県立大学准教授 西田公昭氏
09	「県内の最近の被害・相談事例の特徴」 県消費生活センター所長 佐藤秀樹氏 「今日の貧困問題と消費者の暮らしを考える」 弁護士 宇都宮健児氏

消費者月間学習会



植田和弘さん

消費者月間学習会



野々山宏さん



斉藤貴男さん

消費者月間学習会



末金絹枝さん



黒木理恵さん



宇都宮健児さん

NPO 消費者ネットおか

「NPO消費者ネットおかやま」は、消費悪質事業者の「やり得」を防ぎ、消費者全

消費者ネットおかやま



河田英正理事長



消費者にとって訴権団体が身近に在ることは大切なこと...

《設立・登記、これ

- 2005年 6月 「団体訴権おかやま連絡会
- 2006年 4月 「消費者ネットおかやま連
- 2007年 6月 「消費者ネットおかやま」
- 2008年 11月 岡山県に「特定非営利法
- 2006年より、「消費者被害なんでも相談 建築士や消費生活アドバイザーなどの専 内容を検討し、必要な調査や要望を行う。
- ・消費者月間にあわせ、学習会を開催して
- 〔NPO消費者ネットおかやまの事務局

とめて、消費者団体とともに連帯して



講師は弁護士の近藤幸夫さん

弁護士 浅岡美恵さん

落語で遊ぼう！悪徳商法熱演の浜遊亭美波さん

やまの発足と取り組み

被害者による消費者の「泣き寝入り」や体の利益を守るために設立した団体です。



消費者ネットおかやま総会



消費者被害なんでも相談のようす

までの主な活動

として会を立ち上げる。
 協会」と名称を変更。
 発足。
 人」の登記。
 会」を開催し、会員の弁護士、司法書士、
 専門家による相談会を開催。相談を受けた
 いる。
 (岡山県生協連内)



前 律夫さん



二宮厚美さん



横山壽一さん



杉崎伊津子さん



鈴木宣弘さん



松元ヒロさん

岡山県消費者団体連絡協議会構成団体

JA 岡山県女性組織協議会 おかやま酪農業協同組合女性部 岡山県母親連絡会
 青年法律家協会岡山支部 新日本婦人の会岡山県本部 岡山県労働者福祉協議会
 岡山県生活協同組合連合会 岡山県労働者共済生活協同組合 岡山医療生活協同組合
 生活協同組合おかやまコープ 倉敷医療生活協同組合 三井造船生活協同組合
 岡山県青年団協議会

以上、13 団体、各団体より 2 名以内の幹事を選任、隔月定例で幹事会を開催。

太字は代表幹事団体

事務局・・・岡山県生活協同組合連合会内

岡山県消費者大会 テーマと講演・講師ほか

年	テーマ	講師ほか
87	「悪徳商法根絶に向けて」	堺 次夫氏
88	「お米と文化」	全大阪消団連 下垣内事務局長
89	「地球規模で進む環境汚染」	愛媛大学教授 立川 涼氏
90	「灯油裁判・消費者の権利確立」	
91	環境、製造物責任法、コメ輸入自由化・食料・農業、消費税、医療福祉問題など	
92	環境、製造物責任法の答申先送り、コメ輸入自由化・食糧の安全と自給問題	
93	環境、製造物責任法の答申先送り問題、コメ輸入自由化・食糧の安全と自給問題、金権腐敗政治問題等の特別決議と分科会討論	
94	「PL 法の残された課題」 コメ輸入自由化・食糧の安全と自給問題、金権腐敗政治問題等の特別決議	弁護士 浅岡美恵さん
95	「情報公開法と PL 法で私たちが注意すべきこと」	消科連 原 早苗さん
96	「薬害エイズと情報公開法」 「食の安全問題とバイオ食品をめぐる問題点」	弁護士 清水 勉氏 日本生協連 渡辺秀一氏
97	「地球温暖化と私たちの暮らし」	秋本育生氏
98	「よくわかる環境ホルモンの話」	尚綱女学院短大教授 北條祥子さん
99	「21 世紀の社会保障の行方」	神戸大学教授 二宮厚美氏
00	「暮らしと福祉、そして介護を考える～介護保険その後の検証を中心に～」	倉敷医療生協理事長 前 律夫氏
01	「女と男が共につくる暮らしと憲法」	弁護士 谷 和子氏
02	「最近の消費者立法と私たちの暮らし」 落 語	弁護士 近藤幸夫氏 浜遊亭美波さん
03	「暮らしから税金・社会保障を考える」	神戸大学教授 二宮厚美氏
04	不当(架空)請求にご用心！～消費者被害の相談事例から～ 講演 消費者基本法に基づく、消費生活条例を考える	消費生活センター所長 末金絹枝さん 弁護士 櫻井幸一氏
05	「暮らしと社会保障」を考える ～介護保険・年金など制度の見方、捉え方、活かし方～	金沢大学教授 横山壽一氏
06	地域づくりと協同組合の役割 ～いつまでも安心して住み続けられるまちを～	庄内まちづくり協同組合「虹」 理事長 山中 洋氏
07	権利としての年金 ～年金記録問題の解決とこれからの年金制度を考える～	年金研究科 杉崎伊津子さん
08	日本の食料自給率は上げられるか～消費者と生産者の絆の強化～	東京大学大学院教授 鈴木宣弘氏
09	「暮らしの安心！消費者被害にあわないぞ！」 「暮らしに希望を 茶の間に“政治”をがんばれ！消費者！」	ももばぁ～じゃ(県内寸劇団) パントマイマー 松元ヒロさん

環境や平和の取り組みを会員生協・市民団

(財) おかやま環境ネットワークが結成

1988年に、県生協連も参加する(財)おかやま環境ネットワークが結成されました。結成前までは、会員生協の環境活動を交流したり、「アースデー」を県消団連と連携して取り組みました。



千葉喬三初代理事長の講演

NHK アナウンサーによる講演も



美咲町西堺和西の棚田 (全国棚田百選)



第13回 倉敷川の様子



児島湖周辺河川で



行進を迎えてくれた地元の園児たち



「フードマイレージ」の学習会



東山原爆慰霊碑で



県庁正面の広場で…出発集会のようす



みんなの思

市民団体による岡山県民平和の

1982年の第二回国連軍縮特別総会(SSD II)に参加報告集会をおこなったのが始まり、以来、毎年開催される岡山県民平和のつどい実行委員会は県婦人協議会、おかやま県民平和のつどい実行委員会、岡山県・市被爆者会などで構成され、



吉永小百合さんの原爆詩朗読を報じた新聞

市民平和行進(ピースリレー)1985~2006 子どもたちに平和な未来を残そう! 核兵器と戦争のない平和な世界へ!

市民平和行進実行委員会(県婦人協議会・県青年団協議会・岡山市原爆被爆者会・岡山合唱団・県生協連(事務局))は、歩くこと・集うこと・語り合うことを通して、その心を多くの市民に伝え、自治体の協力と支援をいただきながら、ヒロシマ・ナガサキにつなぐ取り組みをすすめてきました。

2007年以降も、県内各地域で「平和の集い」など、歩くことも含めて多彩な催しが行われています。

体とともに協同・連帯してすすめています。

つどい

参加した市民の代表が、帰国後、
催され、28回を重ねている。
ま コープ、岡山大学「うたう
し、県生協連は事務局団体です。



新垣 勉さん (歌手)



新垣 勉さん (歌手)



「みみこ」(岡山大学うたう会)



「子ども平和大使」の朗読



大塚 信さん



木津川計さん



土山秀夫さん



ナターシャ・グジーさん



立石憲利さん



池田香代子さん



松本由理子さん



日色ともゑさん



竹本成徳さん



きたがわつさん (歌手)



竹峰誠一郎さん

県民平和のつどい

年	テーマ
86	映画、とりくみ報告等
87	平和をうたう会
88	SSD Ⅲ代表団報告 合唱「ぞう列車がやってきた」
89	模で進む環境汚染 講演「核兵器の廃絶、被爆者援護法の問題」 椎名麻紗枝氏 (弁護士)
90	講演「生活文化の中から平和を考える」木津川 計氏 (立命館大学教授・上方芸能編集長) コンサート 壇上さわえさん (三木記念ホール)
91	講演「被爆の証言」 山口仙二さん 平和コンサート 梅原司平さん (歌手) (三木記念ホール)
92	高校生の発表 合唱「ぞう列車がやってきた」(三木記念ホール)
93	講演「ビルマでの従軍体験と現在の政治社会状況を掘り下げる」 永瀬 隆さん 合唱「ぞう列車がやってきた」(市民文化ホール)
94	講演「一ビキニから40年-久保山かずさんと核兵器」 飯塚利弘さん 合唱「ぞう列車がやってきた」(三木記念ホール)
95	平和コンサート「ぞう列車がやってきた」(シンフォニーホール)
96	「沖縄の過去・現在・未来」 沖国大教授 石原昌家氏 450名 (三木記念ホール)
97	「吉永小百合さんの原爆詩集の朗読」、高校生の平和活動報告など 約500名の参加 (県総合福祉会館)
98	「平和を語る～今なぜ平和か～」平和のアピールを親子で読み上げる 立命館大学教授 木津川 計氏 400名参加 (三木記念ホール)
99	「ビキニ被災45周年」映画「ビキニの海は忘れない」 「ハーグ世界市民平和会議」の報告
00	「平和をつくりだそう、21世紀へ」子どもたちがみたホロコーストパネル展の同時開催 ホロコースト記念館館長 大塚 信氏 400名(オルガホール)
01	「第20回県民平和のつどい」 ママカリフォーラム岡山 700名 新垣 勉さん (テノール歌手)
02	「核兵器廃絶への道すじ」 元長崎大学学長 土山秀夫氏 ナターシャ・グジーさん (チェルノブイリの「歌姫」) 550名 オルガホール
03	「子どもたちに平和な未来を」 立石憲利氏 (岡山市民俗学会理事長) 500名 オルガホール
04	「憲法の夢の子どもたち」 池田香代子さん (翻訳家・作家) 500名
05	「被爆・終戦60年…もっともっと輝かそう憲法9条を！子どもたちの未来のために」 「いわさきちひろが教えてくれたこと」 松本由理子さん (ちひろ美術館副館長) 「憲法大好きコンサート」 きたがわつ (歌手) 500名 ママカリフォーラム岡山
06	憲法にこころ寄せて 水野三重子さん (県婦人協議会会長) 憲法お笑いMYMY (まいまい) お笑いコンビ 500名 オルガホール
07	「輝かそう憲法9条を！地球上からすべての核兵器廃絶を！」 命に国境はない～「もっとも危険な国」イラクに支援は届くのか？～ 高遠菜穂子さん
08	「核兵器のない世界を！平和を愛する心は国境を越えて」 「知らされない真実～見えない核の脅威」 竹峰誠一郎氏 (早稲田大学国際関係学) 最後のトマト～ヒロシマを、私自身の「ことば」で～ 竹本成徳氏 (元日本生協連会長)
09	私の宝宝箱は、平和を願う人々の愛や祈りでいっぱい！ 日色ともゑさん

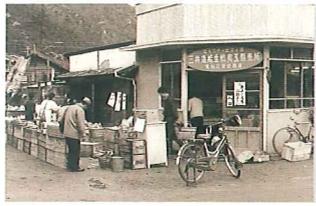
本 験談にメモを取る参加者



思いを広島に託して

岡山県生協連のあゆみ と 内外社会の動向 (年表)

1959年 9月 岡山県生協連創立総会



三井造船生協の店舗 (1959年頃)



3. 29 安保改定阻止国民会議結成
4. 6 全国消団連が新聞代値上げ分不払い運動

1960年 3月 設立認可、県庁厚生課内に事務所
＜県連設立時の参加生協＞

吉永地域生協・下加茂生協・真庭正油生協・酒津生協・新三菱生協・帝国興業生協・三石生協・児島医療生協・裳掛生協・本花滝生協・三井生協・向日比生協・岡山医療生協・水島生協・大茅生協・岡山生協・勝央生協

4. 23 COOP みかん缶発売
6. 3 賀川豊彦氏(日協連初代会長) 逝去
6. 23 「安保改定反対」決議(日協連通常総会)
10. 12 「改定安保条約」発効
12. 27 浅沼稲次郎社会党委員長刺殺
「所得増進政策」閣議決定

1961年 5月 岡山労済生協設立
家庭会組織づくりスタート
総評主婦の会等と物価値上げ反対運動、高校全員入学運動を共同展開

合成洗剤が社会問題に
10. 30 全国消団連「全国物価値上げ反対懇」を結成
ソ連が核実験

1962年 11月 岡山県の貸付金枠 300万円 → 500万円へ増額
岡山生協店舗セルフサービス方式導入

3. 17 東京で大気汚染・騒音公害が問題化
サリドマイド系睡眠薬の販売停止

1963年 10月 北興化学生協設立
吉井川氾濫で岡山医療生協、水島生協が救援活動
県事務指導費初の予算化(3万円)

9. 1 サリドマイド訴訟始まる
11. 22 原潜寄港反対集会
ケネディ大統領暗殺される

1964年 健保共済改悪反対県連絡会議結成

8. 4 日協連総会で班組織方針を定式化
アメリカがベトナム北爆開始
10. 10 診療報酬8割概算払い要求請願署名、県議会で採択
東京オリンピック開会式

1965年 セイレイ工業生協県連加入

6. 12 新潟水俣病発生

1966年 4月 岡山県住宅生協設立
優良消費生協、功労者の知事表彰(1組合、1個人)
牛乳値上げ反対運動を通じて班づくり進む

12. 14 洗剤「COOPソフト」発売
公取委、テレビの協定価格に破棄勧告

1967年 物価値上げ反対、健保改悪反対岡山県集會に500名の組合員が参加
第1回全国生協大会開催
岡山県連長期計画策定 = 地域改革についての構想
700名の参加で第2回生協大会開催、対県要請交渉

4. 15 イタイイタイ病の原因は鉱業排水
5. 東京「美濃部都政」が誕生
6. 5 牛乳にヤシ油
8. 3 第三次中東戦争勃発
9. 1 公害対策基本法公布
四日市公害訴訟

1968年 家庭会による清酒、牛乳の共同購入運動広がる
医療部会で公害反対運動、老人対策、職業病、集団検診運動広がる

5. 30 物価メーターに全国各地で250万人が参加
6. 10 消費者保護基本法公布、施行
10. 大気汚染防止法公布
カネミ米ぬか油による中毒事件発生

1969年 プロパン値上げ反対運動、有害食品反対運動を展開
清酒の直買運動
第3回生協大会に700名参加、対県交渉、アピール行進に取り組む
岡山県労働者福祉協議会結成

7. 12 消費者保護を地方公共団体に義務づけ
8. 1 アポロ11号月面着陸
8. 自主流通米制度実施
10. 28 COOPセフター誕生
12. 1 厚生省、チクロを禁止。回収指示
東京都、老人医療費(70歳以上)無料化実施

1970年 商品研究、家計簿、生活研究グループ活動
森永ひ素ミルク中毒患者検診支援活動

県消費生活センター設立
3. 14 大阪で万国博開会
5. 28 日協連、福島総会結語採択
7. 18 東京都杉並区で光化学スモッグ発生
8. 生協の酒「虹の宴」供給開始
10. 20 農林省、BHC、DDT、ドリン剤の使用禁止

1971年 清酒直買運動の成果で清酒販売免許を三井生協、岡山生協が取得
COOP牛乳を広島県東部酪農との提携で開発 = 岡山生協、水島生協、岡山医療生協、三井造船生協



第5回生協大会 (1971年)

3. 15 森永ひ素ミルク被害児補償生協代表者会議
5. 20 COOPカラーテレビ発売
8. 15 ニクソン米大統領が金とドルの交換停止を発表

1972年

三井造船生協本部店開店
COOP商品普及拡大、商品テスト、両目点検など班を中心に組合員の自主的組織的取り組みが前進
老人クラブと連携し、老人医療費無料化運動に取り組む



牛乳の協同購入 (1971年頃)

- 2. 3 札幌冬季オリンピック
- 3. 21 PCBの生産、使用の禁止
- 5. 15 沖縄返還・沖縄県発足
- 6. 11 日本列島改造論発表
- 6. 22 日生協 商品検査室開設

1973年

県貸付金制度の枠倍額へ、期間5年間、単協限度1000万円へ

- 県、市乳幼児医療費無料化実施
- 2 食品の「製造年月日表示」義務化
- 10. 6 第四次中東戦争
- 10. OPEC、原油値上げ発表(第一次石油ショック)
- 11. 便乗値上げ、物隠し類発
- 11. 27 公取委が独禁法違反で、石油連盟と元売13社を立ち入り検査

1974年

7月

岡山県学校生協県生協連加入
岡山生協倒産、ただちに再建開始
再建総会(組合504人職員4名で米、牛乳等の共同購入運動)



おかやまコープの再建スタート (1974年頃)

- 1. 1 OPEC、原油第二次値上げ
- 1. 30 インフレ、物価つり上げ、品不足を止めさせる全国生協組合員集会
- 2. 5 公取委が石連と元売12社に価格・生産協定の破棄勧告。灯油裁判提訴。鶴岡生協1654名、川崎生協等
- 11. 22 全国消団連が公共料金値上げ反対等消費者集会

1975年

水島生協歯科診療所開設
第9回生協大会で優秀生協、生協役員に知事感謝状授与(2組合17名)

- 4. 18 ベトナム戦争終結
- 4. 30 OPP使用米国産グレープフルーツの流通販売禁止

1976年

県の貸付金、中国銀行も取り扱い窓口になる

- 2. 4 米上院でロッキード事件明るみに
- 11. 11 「生協規制に反対する300万人全国統一署名」を内閣に提出

1977年

三井造船生協全店祝祭日営業へ
水島生協から倉敷市医療生協へ名称変更、玉島協同病院建設
岡山生協から岡山市民生協へ名称変更

- 4. 20 生協規制反対緊急集会
- 9. 王貞治、通算756本塁打世界記録達成
- 10. 4 税制調査会、一般消費税導入を答申
- 10. 5 カネミ油症判決、被害者勝訴
- 12. 1 COOP ウィスキー発売

1978年

一般消費税導入反対署名、健保改悪反対請願署名に取り組む
県連組織担当者交流会始まる
健康チェック、保健大学始まる



班会での健康チェック (1978年頃)

- 5. 新東京国際空港(成田)が開港
- 5. 23 第一回国連軍縮特別総会。代表団27名派遣
- 9. 12 一般消費税反対国民大集会
- 9. 20 灯油裁判勝利、東北・北海道組合員集会
- 12. 7 大平内閣発足

1979年

岡山生協倒産時債権全面解決、新配送センター完成

- 1. 1 米・中国交正常化、20年ぶり国交樹立
- 1. 17 国際石油資本、原油供給削減(二次石油ショック)
- 2. 新洗剤「コープクリン」発売
- 4. COOP共済セト・生命・火災の3制度実施
- 5. イギリス、サッチャー首相誕生

1980年

津山医療生協設立
物価値上げ反対生活を守る県民集会、街頭宣伝、アピール行進
中国地区生協連絡協議会結成総会
公共料金値上げ・福祉切り下げ反対国会請願

- 2. 19 狂乱物価阻止・福祉切捨て反対全国消費者集会
- 6. 4 悪性インフレと一般消費税導入反対決起集会
- 7. 17 鈴木内閣発足
- 7. 19 モスクワオリンピック開幕(西側諸国不参加)
- 9. 9 イラン・イラク戦争勃発
- 12. 4 円高差益還元・物価値上げ反対全国代表者決起集会

1981年

円高差益還元要求運動
「子どものすこやかな成長を願う生協は母のつどい」開催
生協規制反対署名に取り組む

- 1. 20 アメリカ、レーガン大統領就任
- 9. 30 賀川記念全国生協教育基金協会設立総会

1982年

第2回国連軍縮特別総会(SSDII)に3生協から4名が参加
SSDIIの報告会をきっかけに青年団協議会、婦人協議会、市原爆被爆者会との共同行動始まる
市民団体による第1回岡山県民平和のつどい開催

- 2. 2 生協規制反対国会要請行動。署名171万人分
- 6. 5 第二回国連軍縮総会に代表団。200名
- 6. 23 東北新幹線開業、上越新幹線開業(11・15)
- 8. 17 老人保健法改正公布。(70歳以上医療費無料制度廃止。)
- 11. 27 中曽根内閣発足

1983年 8月

食品添加物規制緩和反対運動で実行委員会結成。
農協中央会・婦人協議会・青年団協議会・県総評・県同盟等22団体参加による食添規制緩和反対請願、県議会で採択
健康保険改悪反対国会請願署名19万名、33市町村で反対請願採択
県社保協活動再開、健保改悪反対市民懇談会結成

- 3. 全労済がこくみん共済を開始
- 5. 26 日本海中部地震
- 8. 27 食品添加物11品目指定追加。14品目使用基準緩和
- 11. 11 食添規制緩和反対中央決起集会
- 11. 18 愛媛大学で、ごみ焼却場残灰からゲイゲン検出と発表

1984年

県生協連第1次中期3ヶ年計画開始
非核都市宣言運動広がる

- 1. 7 一人暮らし老人100万人を突破
- 1. 17 食品添加物規制緩和反対、国会要請284万人署名提出
- 7. 19 COOP共済「たすけあい」認可
- 7. 28 ロサンゼルス五輪開幕
- 8. 7 健康保険法改正成立。本人1割負担に

岡山県生協連のあゆみ と 内外社会の動向 (年表)

1985年 岡山市民生協本部商品センター完成
倉敷医療生協総合病院水島協同病院新病院完成
生協規制反対運動に取り組む
市民団体としての平和行進始まる



- 1. 29 大型間接税導入反対中央集会
- 5. 17 男女機会均等法成立
- 6. 1 労働者派遣事業法成立
- 8. 12 日航ジャンボ機、御巣鷹山に墜落
- 12. 12 生協規制反対要請行動。240万人の署名提出

1986年 岡山労済生協会館完成
円高差益還元学習会と中国電力等と交渉
大型間接税(売上税)反対運動
10月 第1回中四国生協・行政合同会議
中四国生協協議会設立
11月 本花滝生協店舗改装オープン



- 1. ICA マルカス会長、生協規制反対書簡寄せる
- 1. 28 チャレンジャー打ち上げ爆発事故
- 2. 12 厚生省、「生協のあり方に関する懇談会」設置
- 4. 8 生協規制反対全国集会。1万1千人
- 4. 26 チェルノブイリ原発事故
- 5. 20 大型間接税反対決起大会、流通11団体も共催
- 5. 衆参同日選挙、自民党304議席を獲得し圧勝
- 9. 20 新ラウンド開始宣言(ウルグアイラウンド)
- 10. 28 税制調査会、新型間接税導入答申
- 12. 22 第11回生協ありかた懇、報告書提出

1987年 岡山県消費者団体連絡協議会結成
第1回岡山県消費者大会開催
川崎製鉄生協設立



- 2. 27 売上税反対消費者・市民決起集会(302団体)
- 4. 1 国鉄分割民営化
- 4. 23 売上税法案、実質廃案に
- 7. 竹下内閣発足
- 9. 18 日生協、「生協の自主運営基準」を発表

1988年 日本生協連第48回総会、岡山で開催
生協法制定40周年で山本会長、岡山市民生協厚生大臣表彰
岡山市民生協第1号店「コープ大野辻」開店
「おえんぞね」消費税岡山県民集会開催

- 3. 13 青函トンネル開業
- 4. 8 瀬戸大橋開通
- 4. 28 税制調査会、新型間接税導入の中間答申
- 6. 20 日米牛肉・オレンジ交渉決着。輸入自由化へ
- 9. 17 ソウル五輪開幕

1989年 消費税廃止、生協規制反対運動
第1回協同組合間提携に向けた懇談会を開催



- 1. 7 昭和天皇崩御、新元号「平成」に
- 4. 1 消費税実施
- 6. 1 中国、天安門事件
- 12. 11 消費税廃止法案、参院可決。(衆院審議未了、廃案)

1990年 3月 県生協連創立30周年式典
県議会議員との第1回懇談会開催
第4回全国高齢者大会岡山開催
「石油製品便乗値上げ・売り惜しみ・不当カルテルを許さない」灯油集会開催



- 2. 19 ベルリンの壁撤去作業開始
- 5. 15 「生協の環境運動の基本方針」発表
- 6. 26 消費税見直し法案・廃止法案ともに廃案
- 8. 2 イラク軍クウェートに侵攻
- 11. 17 雲仙普賢岳噴火
- 11. 27 生協店舗近代化機構(COMO JAPAN)設立総会

1991年 4月 アースデー'91 おかやま環境シンポジウムを開催



- 1. 17 多国籍軍、対イラク作戦開始
- 4. 1 牛肉、オレンジ自由化
- 6. ICA 東京大会プレイベント
- 6. 3 雲仙普賢岳で大火砕流発生
- 10. 11 国生審、製造物責任制度の立法化で中間報告

1992年 3月 おかやまコープオルガ竣工
製造物責任法制定を求め、学習会や署名活動を展開
国連環境サミットにおかやまコープから2名が参加
10月 ICA東京大会開催、岡山報告集会



- 6. 10 農水省、「新しい食料・農業・農村政策の方向」を発表
- 7. 25 バルセロナ五輪開幕
- 9. 12 学校週休二日制スタート
- 10. 19 国生審、PL法について1年先送りの答申
- 10. 21 ICA東京大会・各種委員会始まる

1993年 生協法制定45周年を記念して、岡山県生協連厚生大臣表彰

- 1. 1 EC12カ国、単一市場発足
- 6. 21 定期預金金利完全自由化
- 8. 6 細川内閣発足
- 10. 29 米の作況指数75、外国産米の輸入
- 11. 12 環境基本法成立

1994年 倉敷医療生協「老健あかね」開設
12月 岡山大学生協創立総会



- 1. 29 政治改革関連法案成立、小選挙区比例代表並立制に
- 3. 1 主食用の輸入米、販売開始
- 6. 22 PL法成立
- 6. 30 村山内閣発足
- 10. 7 政府、10年間630兆円の公共投資基本計画決定
- 11. 2 年金改革関連法成立(支給年齢引上げ)

1995年

ボランティア派遣等救援活動開始
生協連第5次中期5ヶ年計画策定
9月 「協同組合のアイデンティティに関するICA 声明」決定(マフエスター)
自然災害等に国民的保障制度を求め
る運動スタート



- 1. 1 WTO 発足
- 1. 7 阪神・淡路大震災発生
- 6. 9 容器包装リサイクル法成立
- 8. 17 中国地下核実験
- 9. 5 仏、地下核実験。以後5回続ける
- 9. 8 公定歩合0.5%へ
- 11. 1 新食糧法施行。(食管法廃止)

1996年

J A岡山中央会・漁連・森連・生協連が「県協同組合連絡協議会」
を結成
おかやまコープ、三井造船生協も参加して岡山市と「災害時にお
ける緊急生活物資確保に関する協定」を締結

- 1. 5 村山首相退陣
- 3. 29 HIV 訴訟、東京・大阪両地裁で和解成立
- 7. 15 堺市で病原菌大腸菌 O157 検出
- 7. 19 アトランタオリンピック

1997年 1月

県生協連(三役)と石井県知事との
初懇談会
全労済岡山(労済生協)で「自賠償共
済」の取り扱いスタート



- 1. 2 ロシアタンカー、重油大量流出福井県沿岸
- 4. 1 消費税が3%から5%へ引上げ
- 4. 8 コープさっぼろ、日生協に支援要請
- 6. 9 環境アセスメント法成立
公的介護保険法の成立

1998年

「介護保険等福祉活動交流会」を開催、各生協では「ホームヘル
パー養成講座」や介護関連施設など事業化の準備を促進
10月 台風10号被害に対してボランティア派遣等迅速な救援活動を展開
12月 また、全国の生協から寄せられた被災者生活支援の義援金の一部
355万円を岡山県に贈呈

- 2. 7 長野冬季オリンピック
- 3. 17 17銀行に1兆4200億円の公的資金投入を決定
- 5. 11 インド、地下核実験
- 5. 15 生協など2500万人署名で「被災者生活再建法」が成立
- 5. 28 パキスタン、地下核実験
- 7. 30 小淵内閣発足
- 10. 2 地球温暖化対策推進法成立
- 12. 18 コメ輸入関税化を閣議決定

1999年 1月

生協法制定50年で岡山医療生協と後藤県連顧問が厚生大臣表彰
また、県知事感謝状を県生協連を含む8組合11個人が受賞
7月 県の食の安全行政の充実・強化を求める運動がスタート
岡山医療生協が国際高齢者年ウォークイベント

- 5. 7 情報公開法成立
- 10. 5 第三次小淵内閣

2000年

3月 県生協連創立40周年記念祝賀会
4月 コープくらしき診療所(倉敷医療生協)開院
6月 前年から取り組んでいた「県の食の安全行政の充実・強化を求
める署名」172,991筆を2月県議会
に提出
男女共同参画実現の一環として、理
事会に女性理事選出(第41回通常
総会)
県生協連が常勤専務理事制へ
県の食の安全行政充実・強化を求める運動をステップに、2001
年6月の通常国会に向けて、「食品衛生法」改正を求める請願署
名運動を開始。



- 4. 1 介護保険スタート
- 4. 5 森内閣発足
- 5. 30 食品リサイクル法成立
- 5. 31 リサイクル法成立
- 6. 29 雪印乳業牛乳製品食中毒事故発生
「県の食の安全行政の充実・強化を求める」請願が継続審
査となり、6月議会で一部採択。
シドニーオリンピック
- 9. 15 鳥取県西部地震
- 10. 6 改正保険法成立。原則70歳以上1割負担
- 11. 30

2001年 1月

大茅生協解散
「食品衛生法」改正を求める請願署名運動は、おかやまコープな
ど会員生協の取り組みで56万筆余を集めた。(全国では、1,373
万筆を超えた)
「食品衛生法」改正を求める請願署名は、「審議未了」(=保留)
により、次期国会に再提出を期す。
県生協連第6次中計を策定
8月 「(財)おかやま環境ネットワーク」が県の認可



- 3. 24 雲予地震
- 4. 26 小泉内閣発足
- 5. 日生協「食べる、大切」キャンペーン
- 9. 11 ニューヨーク、同時多発テロ
- 10. 1 農水省、肉骨粉の国内製造販売、輸入を禁止
- 10. 18 狂牛病問題で、全頭検査始まる

岡山県生協連のあゆみ と 内外社会の動向 (年表)

2002年 7月 岡山医療生協が協立病院「歯科」を開設
BSE問題が懸念されるなかで、「国民の食の安全を確保するために」をテーマに、中四国9県の生協連が農政局(岡山)と懇談会を開催

2003年 9月 第15回目となる県議会議員との懇談会は、議員によるおかやまコープの商品センター、商品検査室の施設見学(9月9日)と合わせて行われた。
10月 生協法55周年を記念して、県労済生協と吉永紀明会長理事が厚生労働大臣表彰を受賞
12月 おかやまコープがISO9001の認証を取得

2004年 9月 中四国生協・行政合同会議が岡山で開催
台風16号により玉野市・倉敷市を中心に被害、ボランティアが大活躍
10月 県生協連医療部会で「非常勤理事研修交流会」を開催
12月 三井造船生協が葬祭事業を始める



2005年 3月 県生協連がホームページを開設
6月 岡山県住宅生協が解散
「消費者団体訴訟制度」情報交換会が開催、11団体より16人が出席



9月 県生協連がベトナムの生協・サイゴンコープとツーツー病院を訪問



12月 岡山大学生協が創立10周年記念祝賀会

2006年 3月 「消費者ネットおかやま連絡会」が「消費者なんでも相談会」を実施



6月 グリーンコープおかやまが県生協連へ加入
9月 会員生協で「こども110番」の取り組みがスタート



- 1. 23 雪印食品、豪州産牛肉を国産と偽る
- 2. 県議会が「食品衛生法の改正と運用強化等に関する意見書」を採択
- 3. 全農チキンフーズが牛肉偽装。その後、生協納入業者の豚・鶏肉などでの偽装問題が発覚
- 8. 6 日本ハム、輸入牛肉の混入認める
- 9. 岡山県が「食の安全推進本部」を発足させ、「～推進基本方針」を策定
- 10. 15 北朝鮮拉致被害者5人帰国
- 12. 14 政府、イージス艦のインド洋派遣決定

- 3. 20 米国、イラク侵攻開始
- 5. 23 食品安全基本法公布。食衛法改正。
- 6. 6 有事関連三法成立
- 12. 24 米国産牛肉の輸入停止

- 1. 31 「イラク復興支援」、陸上自衛隊派遣が衆院で承認
- 2. 県議会に提出していた「消費者保護基本法」の改正法案に対する「国への意見書採択」の要請は、「継続審査」となる。
- 4. 1 被災者生活再建支援法改正
- 5. 26 第159国会で消費者基本法が成立
- 6. 2 消費者保護基本法改正、消費者基本法公布
- 8. 13 アテネオリンピック
- 10. 23 新潟中越地震発生
- 12. 26 スマトラ沖地震。津波による死者5万人

- 2. 10 北朝鮮、核兵器製造を公式宣言
- 2. 16 京都議定書発効
- 3. 18 岡山県消費生活条例が、「消費者の権利の尊重と自立支援」を明記して、28年ぶりに改正
- 4. 1 個人情報保護法全面施行
- 4. 25 JR福知山線で脱線事故、死者100名超
- 5. 「NPT再検討会議」がニューヨークで開催
- 6. 18 公益通報者保護法・改正介護保険法・食育基本法公布
総選挙で自民党圧勝(郵政民営化)
- 9. 11 米国産牛肉の輸入全面中止

- 1. 20 消費者団体訴訟制度成立
- 5. 31 県の消費生活基本計画により、第1回消費者被害撲滅民大会が開催
- 5. 医療制度改革法成立
- 6. 14 日生協総会「生協法改正実現」を決定
- 6. 15 パロマ瞬間湯沸器事故、85年から放置判明
- 7. 14 安倍内閣発足
- 9. 26 北朝鮮地下核実験



- 10月 倉敷医療生協が「さくらんぼ助産院」を開設
- 11月 県生協連が沖縄研修



- 10. 教育基本法改正
- 12. 15 県が「食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例」を制定

- 2007年 6月 「消費者ネットおかやま」が発足総会
- 10月 おかやまコープが AMDA と協定書を締結



- 1. 11 不二家、消費期限切れ洋菓子出荷発覚
- 4. 17 長崎市長、凶弾に倒れる
- 5. 14 国民投票法成立
- 5. 消費生活協同組合法改正案が、通常国会で、全会一致、可決成立
- 6. 7 「消費者団体訴訟制度」が施行
- 6. 20 ミートホープひき肉偽装問題発覚
- 原油の急騰
- 7. 16 新潟県中越沖地震が発生
- 7. 29 参議院選挙、与野党逆転
- 年金記録漏れ、社会保険庁の不祥事発覚
- 9. 12 安部首相突然辞任。福田内閣発足

- 2008年 生協法制定 60 周年記念で、岡山県学校生協が厚生労働大臣賞を受賞
- 6月 特定非営利活動法人「消費者ネットおかやま」が設立総会
- 8月 JFE コープが解散
- 厚生労働省が進める「認知症サポーター養成講座」が各地で開催される

- 1. 30 冷凍餃子中毒事件が発覚
- 4. 後期高齢者医療制度始まる
- 5. 12 中国四川大地震の発生
- 8. 8 北京オリンピック

- 2009年 3月 第9回全国健康づくり学会が岡山で開催（3月7～8日）
- 5月 県労済生協（全労済県本部）創立 50 周年



- 4. 1 岡山市が政令市に移行
- 7. 22 皆既日食
- 7. 美作市で竜巻被害
- 8. 豪雨災害
- 9. 1 消費者庁が設置される（9月1日）
- 9. 16 自民・公明政権から民主党中心の政権に移行
- 新型インフルエンザが大流行

吉永紀明さん（元会長理事）が「岡山県消費者活動功労者表彰」を受賞

- 9月 岡山県生協連創立記念日（50周年）
- 10月 生協おかやまコープ再建 35周年フェスティバル



- 11月 県生協連 50周年記念ボウリング大会が4会場で開催、380名の参加



- 2010年 3月 県生協連創立 50周年記念講演会、同式典、レセプション

会員紹介

岡山県学校生活協同組合

代表者名 理事長 梶原 洋一
 組合員数 17,270人
 出資金 134,228千円
 供給高 917,575千円
 活動エリア 岡山県下、保・幼・小・中・高校・大学職域（県下全域）
 設立登記年月日 1949年8月22日
 役員数 (常勤) 1人 (非常勤) 12人 (監事) 3人
 職員数 (正規) 8人 (内2人出向) (パート) 1人

概 略



岡山県学校生活協同組合は、県下公私立の保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等・大学、教育庁関係職場に勤務される方とその職場を退職された教職員を対象とした職域生協で、組合員より拠出された出資金により運営される事業体です。

学校生協は、1949年に発足以来、組合員の皆さまとともに幾多の困難を乗り越えながら、今日まで発展してきました。今、私たちを取り巻く状況は、行先不透明で不安をかかえたまま推移しています。こういう時だからこそ「平和やくらしを守る生協運動」の果たす役割がますます大切になってきています。今後とも、学校生協事業を魅力あるものに変革しながら、生協本来の活動に邁進し、組合員の福利厚生を担う事業体として更に活動を続けてまいります。

本花瀧生活協同組合

代表者名 理事長 名合 正壽
 組合員数 94人
 出資金 4,700千円
 供給高 960千円
 活動エリア 井原市芳井町花滝地区
 設立登記年月日 1950年6月18日（生協法上の登記）
 役員数 (非常勤) 7人 (監事) 3人
 職員数 (正規) 0人

概 略



本組合は、元産業組合法と定款第一章第1条の目的に依り設立し爾後経営維持し大正12年2月本花瀧利用組合に組織変更、昭和25年、本花瀧生活協同組合に改組し現在に至っております。本組合は、協同相互の精神に基づき生活の文化的、経済的、改善を計ることを目的として活動しています。

三井造船生活協同組合

代表者名 理事長 中原 豊
 組合員数 25,120人
 出資金 515,451千円
 供給高 5,355,868千円
 活動エリア 玉野市、岡山市、倉敷市
 設立登記年月日 1950年11月
 職員数 (正規) 105人 (定時) 95人

概 略



1950年11月に職域生協として設立、今年で60周年を迎えます。創立以来『人とひとのつながりを大切に、健康で心豊かなくらしの実現を目指します』の理念のもと、現在では職域ばかりでなく、地域組合員のくらしを支える共同相互組織として、店舗（玉野市内に5店舗）及び共同購入での供給事業や、葬祭事業、福祉介護事業、旅行業、共済事業など幅広く展開しています。

また、組合員活動では1956年に結成した家庭会（地域組合員組織）を中心として環境問題や福祉活動その他安全な商品の提供にも積極的に取り組んでいます。中でも家庭会チャリティーバザーは第1回目の1979年から連続31年間、毎年その収益金を玉野市の社会福祉事業へ寄贈（累計で1,569万円）など、まさに地域社会にしっかりと根ざした活動となっています。

これら、事業及び組合員活動の歴史を礎に、組合員による・組合員のための生協、安心・安全をキーワードとした生協、また、人と環境にやさしい地域社会づくりに貢献できる生協をめざします。

くらしの中に、そして地域の中に生協がある。

～こういう生協をめざして～

岡山医療生活協同組合

代表者名 理事長 浪尾 淑子
 組合員数 57,038人（09年11月末現在）
 出資金 1,781,122千円（同上）
 供給高 6,439,991千円（2008年度）
 活動エリア 岡山県下一円
 設立登記年月日 1952年10月21日
 役員数 (常勤) 9人 (非常勤) 26人 (監事) 5人
 職員数 (正規) 595人 (定時) 233人

概 略



1952年に設立された当生協は、現在組合員は57,038人、出資金が17億8千万円となりました。

事業所は、4つの診療所、2つの病院、9つの介護事業所、そして1つの認可保育園（医療生協の運営では唯一）で構成しています。これらのネットワークを活かし地域のみなさまの医療・介護の要望にお応えしています。1枚の診察券ですべての事業所で診察できることもその一つです。さらに、岡山中央福祉会をはじめ地域医療機関と連携して医療・介護・福祉の充実につとめています。

岡山医療生協の“4つのこころ”（①「差額ベッド料」はいただきません ②「謝礼」や「付け届け」の心配はいりません ③人権を守る医療・介護をめざします ④保健・医療・福祉のネットワークで安心の対応をします。）は、これまでの活動をより豊かなものにしてきました。

本年は、センター病院である岡山協立病院が開院50年を迎えます。7:1看護基準の取得など更に質の高い医療を目指します。

倉敷医療生活協同組合

代表者名	理事長 杉山 信義
組合員数	60,189人
出資金	1,572,016千円
供給高	9,156,840千円
活動エリア	岡山県全域
設立登記年月日	1955年2月28日
役員数	(常勤) 9人 (非常勤) 18人 (監事) 5人
職員数	(正規) 772人 (定時) 376人



概 略

倉敷医療生活協同組合は、センター病院の水島協同病院を中心に、全体で3病院、4つの内科診療所、7つの歯科診療所、3つの訪問看護ステーション、3つのヘルパーステーションに加え、老健施設、倉敷市の高齢者支援センター、助産院、認知症デイサービスなど多彩な機能を持った27の事業所を有して、医療・介護・福祉と、健康づくりのネットワークを展開してきました。さらに、家庭的な雰囲気の中で、安心して分娩できる施設として「さくらんぼ助産院」を2006年10月開設しました。

また、下記の理念を定め、地域と利用者・組合員・職員に対して、当組合の存在意義を分かりやすく示しています。

〈私たちの思い〉人が人として大切にされる社会を目指し/保健・医療・介護の事業と運動をとおして/様々な人たちと手をつなぎあい/平和とくらしを守り/健康で明るいまちをつくります。

地域医療を巡る状況は改めて言うまでもなくたいへん厳しいですが、平和で健康な暮らしを願う組合員・地域住民の切実な思いを集めて、さらなる飛躍を期して全力をあげてまいります。

生活協同組合おかやまコープ

代表者名	理事長 三橋 幸夫
組合員数	310,532世帯
出資金	10,899百万円
供給高	41,775百万円
活動エリア	岡山県一円(定款エリア)
設立登記年月日	1956年6月13日
役員数	(常勤理事) 5人 (非常勤) 14人 (常勤監事) 1人 (監事) 4人
職員数	(正規) 461人 (定時) 1,978人



概 略

おかやまコープは、岡山県内の4割を超える31万世帯が加入する県下最大の消費者組織です。

共同購入と店舗での食品や日用品などを供給する購買事業を中心に、COOP共済たすけあいなどの共済事業、訪問介護やデイサービスなどの福祉事業を行っています。

品質マネジメントシステムの国際規格ISO 9001を取得しています。また、商品トレサビリティの取り組みや「食の安全総合政策」の策定など、安全・安心な商品の提供や産直事業、地産地消の活動をすすめています。

また、商品学習や産地交流などの商品活動やたべる・たいせつ活動、省エネ活動やリサイクル活動、マイバッグ運動などの環境の取り組み、核兵器と戦争のない世界をめざしての平和活動、ユニセフやAMDAへの支援をすすめる国際協力支援活動、「子育てひろば」などの子育て応援活動や組合員どうして支え合う「コープくらしの助け合いの会」の活動など、多彩な組合員活動にも取り組んでいます。

関連会社のコープP&Sでは、旅行・飲食・フィットネス事業の他、葬祭や保険などの斡旋事業を行っています。

岡山県労働者共済生活協同組合

代表者名	理事長 森本 榮
組合員数	238,869人
出資金	1,377,000千円
契約件数	518,911件
契約口数	50,401,784口
給付件数	25,225件
給付金総額	419,361万円
活動エリア	岡山県一円
設立登記年月日	1961年4月1日
役員数	(常勤) 2人 (非常勤) 26人
職員数	29人



概 略

岡山県労働者共済生活協同組合(全労済岡山県本部)は営利を目的としない保障の生協として、岡山県と厚生労働省の認可を得て事業運営を行っています。

岡山県労働者共済生活協同組合は昨年5月に創立50周年を迎えることができました。これもひとえに組合員と関係諸団体の皆様の深いご理解とご協力によるものだと感謝いたしております。

私どもの運動は「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念とし、組合員の皆様の「安心とゆとりある暮らし」をめざした活動をおこなっています。

これからも、「組合員の全労済」「正直な全労済」「努力の全労済」を信条として位置づけ、組合員のくらしを何よりも大切とし、組合員や地域社会からの信頼に応え、社会の発展のために行動し、たすけあいの心を大切にすることにより、全労済に関わるすべての人の満足に向け努力し続けます。

セイレイ工業岡山地区生活協同組合

代表者名	代表理事 木村 正道
組合員数	397人
出資金	397千円
供給高	20,400千円
活動エリア	職域(工場内)
設立登記年月日	1965年1月25日
役員数	(常勤) 0人 (非常勤) 10人
職員数	(正規) 1人 (定時) 0人



概 略

当生協は新岡山港の近くの「ヤン坊マー坊」でおなじみのヤンマー農業機械の総合機会メーカー、セイレイ工業の敷地内で活動しています。

組合員数400名弱と限られた範囲での活動であり、これから組合員の減少が予測される中、安定経営および、組合員の要望にそった活動が出来るよう一層の努力が問われています。

一年間を通じての地域の公園や遊歩道のクリーン作戦も回を重ね、これからも地域とのつながりを大切にしていきたいと思っております。

津山医療生活協同組合

代表者名 理事長 中西 孝
 組合員数 6,768人
 出資金 84,148千円
 供給高 286,558千円
 活動エリア 定款区域（主には津山市と津山市周辺町村）
 設立登記年月日 1980年8月12日
 役員数（常勤）2人（非常勤）16人（監事）4人
 職員数（正規）20人（定時）21人



概 略

津山医療生活協同組合は、1980年8月設立以来、患者様・利用者様の権利を尊重し、親切でやさしい医療・介護にこころがけ、地域医療と働く人々の命と健康を守るために全力を尽くしています。又、津山医師会・自治体とも協力して地域の健康づくりをすすめています。

高齢化社会が進み、医療や介護、暮らしをめぐる生活の環境が変わる中で、診療所・訪問看護ステーション・居宅介護支援（ケアプラン）事業所・ヘルパーステーション・デイサービスなど保健・医療・福祉（介護）のネットワークをひろげ、365日安心・安全の医療・介護サービスの充実と、組合員との協同による健康づくり・まちづくりを進めています。

岡山大学生協同組合

代表者名 理事長 田口 勇仁
 組合員数 15,304人
 出資金 199,854千円
 供給高 2,033,277千円
 活動エリア 岡山大学津島・鹿田キャンパス
 設立登記年月日 1995年2月20日
 役員数（常勤）2人（非常勤）28人（監事）4人
 職員数（正規）18人（定時）130人



概 略

岡山大学生協同組合は岡山大学の学生・教職員の手によって1994年12月に設立されました。

大学生協は、大学の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員組合員に良い品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場としての大学にふさわしい様々な活動を行っています。

岡山大学では、津島キャンパスのマスカットユニオン・ピーチユニオン・ピオーネユニオン及び鹿田キャンパス医学部記念会館という大学の福利施設の中で、構成員のニーズにもとづいて、購買・書籍事業、旅行事業、食堂事業、共済事業など幅広い事業に取り組んでいます。

グリーンコープ生協おかやま

代表者名 理事長 坂口陽子
 組合員数 5,835人
 出資金 84,495千円
 供給高 760,889千円（2009年3月20日現在）
 活動エリア 岡山市・倉敷市・総社市及びその周辺地域（共同購入と個配事業）
 設立登記年月日 2003年8月13日
 役員数（常勤）2人（非常勤）8人（監事）3人
 職員数（職員）16人（定時職員）15人



概 略

グリーンコープ生協おかやまは、安心・安全な食べものを求め、環境問題や地域福祉、平和の取り組みなどに関心ある消費者が集まり、2003年8月に設立しました。

無・減農薬で栽培された青果・農産物、遺伝子組み換えされていない飼料で育てた畜産品、なるべく添加物を使わずにつくった加工品など、商品を「いのちを育む食べもの」と考え、組合員自身が企画段階から参加し、試食し、点検を重ねて開発しています。また、環境問題へのアプローチとして、分解されやすい「せっけん洗剤」の企画、食品包材へのびん容器・紙モールド容器の活用、食品トレーを回収し、再度トレー原料の一部として再使用するとりくみなどもすすめています。

今後とも人と人との結びつきを大切にしながら、「食の安全・安心」をはじめとする、地域からの期待と信頼にこたえることができる生協を目指して参ります。

県生協連加盟単位生協名簿

会員生協名	住 所	電話・FAX
岡山県学校生活協同組合	〒703-8258 岡山市中区西川原 255 (財)岡山県教育会 4階	TEL 086-272-4033 FAX 086-272-4034
本花滝生活協同組合	〒714-2104 井原市芳井町花滝 2834-5	TEL 0866-73-0202
三井造船生活協同組合	〒706-8501 玉野市玉二丁目 5-5	TEL 0863-31-5566 FAX 0863-31-7459
岡山医療生活協同組合	〒703-8288 岡山市中区赤坂本町 2-20	TEL 086-271-0943 FAX 086-271-7854
倉敷医療生活協同組合	〒712-8025 倉敷市水島南春日町 13-1	TEL 086-448-6210 FAX 086-448-4150
生活協同組合 おかやまコープ	〒700-0026 岡山市北区奉還町 1-7-7	TEL 086-256-2511 FAX 086-256-2585
岡山県労働者共済 生活協同組合	〒700-0024 岡山市北区駅元町 6-26	TEL 086-254-2155 FAX 086-254-8116
セイレイ工業岡山地区 生活協同組合	〒702-8004 岡山市中区江並 428	TEL 086-276-8115 FAX 086-276-8152
津山医療生活協同組合	〒708-0872 津山市平福 547-1	TEL 0868-28-3858 FAX 0868-28-3803
岡山大学生協同組合	〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1	TEL 086-251-7207 FAX 086-256-0445
グリーンコープ 生活協同組合おかやま	〒700-0973 岡山市北区下中野 311-113	TEL 086-805-2566 FAX 086-805-2552



概 況

1959年9月に創立総会を開催して設立された岡山県生協連は、当初17生協の参加でスタートしました。

現在、11の会員生協に、延べ70万余世帯の組合員が加入する県下最大の消費者組織になっています。

購買生協は地域・職域の7生協、医療生協は3生協、それに労済生協とで構成されています。

生協は、県民の生活の安定と生活文化の向上に努めており、組合員のくらしと地域社会にとってなくてはならない存在となっています。

代表者名	会長理事	安場 靖
会員数	11生協	
会員総組合員数	708,188人	(2009.3.31)
会員総出資金	16,361,700千円	(同上)
会員総事業高	74,985,790千円	(同上)
設立登記年月日	1960年3月2日	
役員数	(常勤理事)	1人
	(非常勤理事)	12人
	(非常勤監事)	3人
職員数	(定時)	2人

日本の生協

日本の生協は、1879年（明治12年）にはじめて設立され、1900年に制定された産業組合法のもとに購買組合として広がっていきました。特に、第一次大戦以後の働く人々の生活困難と労働運動や社会運動の高まりの中で、市民購買組合と労働者消費組合がつけられました。そして高度成長時代のひずみによるくらしの要求から、主婦を中心とする生協が数多く生まれ、全国に広がっていきました。

「よりよい生活と平和のために」をスローガンに、現在生協は全国で、また多くの分野で活動を展開し、組合員は2000万人を超えました。また生協どうしの県を越えた連帯、連合も進んでいます。

日本生活協同組合連合会は、約500の生協が加盟する連合会です。

会員生協も日本生協連も、それぞれ独立した法人として事業・経営を行っています。

2008年4月、改正された消費生活協同組合法の施行により、日本生協連と一部の購買生協が行ってきた共済事業（生命共済・火災共済の各事業を除く）部門は、2009年3月21日付けで新連合会である**日本コープ共済生活協同組合連合会**（コープ共済連）へ移管しました。

生協は県域・職域により活動が制限されるため、共同で仕入れるなど他の生協と協力したりして大きな事業を行う時等に事業連合を組織しています。地域生協では事業連合単位での共同開発商品（**プライベートブランド**）が多く作り出されています。



全国の事業連合

サンネット事業連合、
 コープネット事業連合、
 ユーコープ事業連合、
 東海コープ事業連合、
 コープ北陸事業連合、
 コープきんぎ事業連合、
 コープ中国四国事業連合、
 コープ九州、
 生活クラブ事業連合、
 生活協同組合連合会、
 パルシステム生活協同組合
 連合会、
 コープ自然派事業連合、
 生活協同組合連合会きらり、
 生活協同組合連合会グリーン
 コープ連合

世界の生協

世界ではじめて生協が誕生したのは、いまから約160年前の1844年、イギリスのロッチデールというところでは、

当時のイギリスは、産業革命の真っただ中で、労働者は、失業、低賃金、高い物価に悩まされていました。悪徳商人は、パンにワラくずを混ぜて高く売るなど働く人々を苦しめていました。

ロッチデールの28人の労働者たちは、1年間かかって資金を積立て、安心して利用できる自分たちの店をつくったのです。

この経験は、次々とヨーロッパに波及し、全世界へと運動の輪はひろがりました。

今、国際協同組合同盟（ICA）に加盟する協同組合は、世界97ヶ国7.3億人をこえています。



ロッチデールの先駆者たちの記念写真

■世界93ヶ国7億2,781万人の協同組合

世界の生協は、国境を越えて人間どうしが豊かに暮らしていくことを共通の理念としてかかげています。諸外国でも生協の活動はさかんで、特に生協発祥の地、ヨーロッパでは大きな社会的な力をもっています。世界の協同組合の集まりである国際協同組合同盟（ICA）に加盟する協同組合は93ヶ国、7億人をこえています。

世界の協同組合は

共通の「定義・価値・原則」をもっています。

ICA（1895年創立：国際協同組合同盟）では、協同組合原則を満たすことが加盟の資格条件になっています。「原則」はロッチデール公正開拓者組合創立時の規約の原則を原型にしています。

ICAでは、協同組合の理念を大切にしながら、時代の変化にあわせて何度かの改定を重ね、1995年9月にマンチェスターで開かれた100周年記念大会で「協同組合のアイデンティティに関する声明」を決定しました。

定義

協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。

価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

原則

協同組合原則は、協同組合がその価値を実践に移すための指針である。

- （第1原則）自発的で開かれた組合員制
- （第2原則）組合員による民主的管理
- （第3原則）組合員の経済的参加
- （第4原則）自治と自立
- （第5原則）教育、訓練および広報
- （第6原則）協同組合間協同
- （第7原則）コミュニティへの関与



岡山県生活協同組合連合会

岡山市北区下石井一丁目1番3号

日本生命岡山第2ビル8階

TEL : 086-221-4301

URL : <http://kenren.jccu.coop/okayama/>